

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

①

昭和十三年十二月

廣畑銅板工場コイル下ミル設備計畫

昭和十三年十二月
廣畑銅板工場
コイル下ミル設備計畫

(A)

廣畑鋼板工場コールド設備計畫

(一) 目的

目下建設中ナル廣畑鋼板工場ハ普通厚中板ヲ主トスルモノニシテ其ノ範圍ハ極限サレ居ルモノナリ。之ニ今コールド・ロール設備ヲ増設シテ此ノ範圍ヲ擴張シイヤシクモ鋼板ト稱セラレルモノハ厚板、中板ハ勿論高級薄板迄モ製作可能ナル萬能鋼板壓延設備タラシメ且ツ最高級ノモノヨリ下級ノモノ迄アラユル品種ニ涉リ自由自在ニ直チニ短時日ニ需要ニ即應シテ製作シ得ル如クニナシ且ツ其ノ下級品ニアリテモ現在本邦市場ニアル高級ト稱セラレル程度ノモノヲ遙カニ凌駕シ然モ其ノ生産費ハ此等市販品ヨリ遙カニ低廉ナラシメントスルモノデアアル。

(二) 結果

本設備完備スレバ

(1) 尙鋼板ト稱セラレルモノハ全部門ノ品種範圍ニ涉ツテ製作可能トナルニヨリ如何ナル變化極リナキ急需ニモ應ゼラレル事トナリ且ツ寸法モ自由ナレバ眞ニ非常時設備ト言ヒツベク從ツテ又鋼板市場ノ統制モ容易トナリ現在ノ國策ニ順應スル最モ適切ナル設備トナル。

(2) 一六耗ノ如キ需要多キ(本邦需要鋼板ノ一割ヲ占ム)モノヲ安價ニ多量生産サレ且ツ二米幅トイフ本邦最初ノ大幅物ノ産出トナリ且ツ長尺物モ製作可能ニシテ利用率高ク品質モ甚ダ優秀トナル爲市場ヲ獨占統制スルニモ有利ナリ。

(3) 大鋼片ヨリコイル卷トシテ處理スル爲生産費ヲ遞減セシメ得ル。

(4) 既存設備ニテハ下級市販品ノミノ製出トナリ居ルモコールド・ロール設備アレバ販賣價格高キ高級品迄モ安價ニ製出セラレル事トナリ工場設備ノ收益率ガ著シク増進セシメラル。

(5) 自動車外裝用ノ如キ高級品ノ生産ヲナス事トナルニヨリ鋼材一屯ニ付キテノ收益率ガ増大セララル。

(6) 一六ス・ロール品ヲ更生セシメ得ル即チホツト・ロールデハ二級品トナルベキモノモ本設備ヲ經由スル事ニ依リ一級品ニ更生セララルニ依リ歩留ノ向上ト共ニ收益ノ増進トナル。又ホツト・ロールノ短尺物ヲ利用シテ本設備ヲ經由シテ定尺一級品トセラルルニ依リ利用率ヲ高メ併セテ收益ヲ増大ス。

(7) 壓延機ノ特性トシテ壓縮度ガ強大デアアルカラ普通壓延品ニ比シ材質強

度ガ著シク優良化シ強化サレル。

(8) 既設ノ設備ニテハ自動車用鋼板ノ下級品ノミノ生産ニ留リ最高級品ハ製作不可能ニシテ今回ノ設備完成スレバ始メテ本格ノ生産設備トナリ首尾一貫セル自動車用鋼板ノタメノ完備セル設備トナル。

(9) 特殊鋼々板ハ需要少キ爲我國ニハ本式ニ設備スルモノナク皆固ニ合セテナスニ依リ中間ニ他ノ材質ノモノヲ挿入作業スル事可能ニシテ特殊鋼々板ノ本格的生産モナシ得ルモノナリ。

(10) 製品ハ非常ニ優秀ニシテ輸出ノ促進、販路ノ増進可能ナリ。

(11) 設備ハ機械化シテ人力ノ節減ヲナシ居リ生産費モ安價ナリ。

(12) 不況襲來スルモアラユル範圍ノ製品ヲ製出セラルルニ依リ利用更生ノ道廣化シ伸縮性ニ富ミ不況對應性大ナリ。

要スルニ本設備完備セバ鋼板ニ關スル萬能設備トナルノデアアル。

(三) 生産能力

本設備完成後ハ鋼板ニ關スル限り總テノ製品ヲ製作シ得ル萬能鋼板壓延設備トナル而シテ其ノ能力範圍ヲ表示セバ次ノ如シ

生産總能力 六十萬噸

鋼板寸法 幅最大二米突、最小一米突（一米以下ハ戸畑鐵力ニテ生産ス）

厚サ最大二十五耗最小〇。三耗（此際ハ幅一米突トナル）

長サ平板ニテ最長四十米突（厚サ六耗乃至三。二耗）

コイル卷ニテ百米突（厚サ一。六耗乃至三。二耗）

(四) 生産豫定

生産ハ鋼板ノ一切ノ分野ニ及ブモノニシテ需要ノ狀況ニ應ジテ如何ナル品種ノ急需ニモ即應シ得ル伸縮自在ノ設備ナレ共普通作業狀態ニ於ケル生産豫定ヲ推定スルニ年産ニテ

(イ) 普通厚中板 三十五萬噸

(ロ) 普通中薄板 十萬噸

(ハ) 高級中薄板 十五萬噸

トナリ本邦ニ於ケル鋼板ノ不足ハ完全ニ此ヲ充足シテ尙余力ヲ示ス此ノ余力

ハ將來ノ需要増加ニ應ズベク又當分ハ輸出ノ引當トナスモ可ナリ又次ニ述ベル薄板材料トスルモ可ナリ但シ非常ニ困難ナル連續作業ノ事トテ創業當時ハ全能力ノ發揮ハ困難ニシテ本邦ノ現時ノ増加需要ヲ了度充足シテ均衡ヲトルモノト思考セラル

(五) 品種及用途

(1) 普通厚中板ハ艦船材、造船材、車輛材、橋梁材、建築材、多シク材各種容器具材、機械部分等ノ如キ常用鋼材トシテ廣キ用途ヲ有スルハ一言ヲ要セズ當局ニ於テハ自國建造船主義ノ原則ニヨリ船舶改善ヲ實施シツ、アルモ造船材入手不圓滑ノ爲メ實現困難ニシテ其ノ對策が要望サレ居ル現狀モ本設備ノ完成ニテ完全ニ解消セラルル事トナル又戰時ニアリテハ鋼質ヲ變化シテ直チニ軍需資材ノ壓延トナリ艦船ニ戰車ニ爆彈ニ防楯ニ第一戰兵器ノ供給トナルノデアアル

普通中厚板ト稱スルモ現在本邦市場ニ見ルガ如キ粗雜ナル製品ニアラズンテ非常ニ表面美麗、材質強靱厚ミ均等ナル優秀品ナリ

(2) 普通中薄板ハ前記厚中板ト同様ニ平時戰時ノ如何ヲ問ハズ廣範圍ノ用途ヲ有スル外ニ新シキ利用法トシテハ薄板（黑板）ノ材料トシテ最も好マシキ

モノナリ

「ブレイクダウン」ト稱シテ米國ニテハ需要多キモノニシテ「ブレイクダウン」ヲ使用セバ卅番ノ如キ薄板ノ壓延能力ハ倍加シ薄板作業ノ痼疾アルコトノ折損モ絶滅セラレテ一層薄板ノ經濟作業ヲ誘導スルコト、ナル。本邦ニ於ケル薄板壓延設備ハ年五十萬噸以上ノ能力ヲ有スルニヨリ此等ニ全部供給スルトセバ今回ノ擴張ニテハ尙不充分トイフ事トナルベク不況時代ニハ薄板ノ如キ平和産業最モ股賑トナルモノナレバ不況時代ノ轉換目標トシテハ好個ノモノトナルベシ

尙コイル卷トセルモノ又ハ長尺物ニアリテハ銲接鋼管用ノ唯一ノ材料トナル殊ニ螺旋卷ニ銲接スレバ如何ナル大口徑ノ鋼管モ製作可能トナリ本邦ニテ希望者少ナカラザリシガ材料入手難ノ爲未開拓ナリシ分野ニ新販路ヲモ見出し得ベシ

コイル卷ノ利用ハ本邦ニテハ一部小幅鋼帶ニ見ルノミナルガ加工用ノ自動機械ノ使用ガ漸次増加スル傾向アル時局ニ於テハコイル卷ノ需要モ期シテ待ツベキモノアリ

(3) 高級中薄板ハ本邦ニテ現在製作サレ居ルモノハ皆間ニ合セノモノニシテ黒

板ヲコイル機ニ一枚宛反覆通過センメテ艶出ヲナス所ノ單板作業ナル爲其厚ミ不同多ク材質組織一定セズ加工作業中多大ノ不良品ヲ發生シ居リ特ニ深絞ニハ不充分ナル現状ナリ又五呎幅以上ノモノハ製作困難ニテ自動車工業ノ要求アル六呎幅ヲ満足シ居ラズ目下進行中ノ設備ニテハ自動車用ノツレム板迄ノ生産ニシテ最高級品迄ニハ及バズ畫龍點睛ヲ缺ギ居リシモノナルガ今回此ノ「コールド」設備ヲ完成スレバ始メテ首尾一貫セル本邦ノ自動車鋼板製造設備全部ガ完成セラルル事トナリ自動車工業ノ展望スル廣幅物迄真正ナル製品全部ヲ低廉ニ自給自足シテ本邦ニ於ケル自動車工業ハ始メテ確立セラルル事トナル。

特殊鋼鋼板モ此ノ部類ニ屬スルモノニシテ平時ハ生産セザルモ非常時ニハ此ガ生産容易ナリ、特ニ航空機用各種合金鋼板ノ生産能力不充分ノ現時ニアリテハ準備シ置クベキ當然ノ設備ト思考セラル

以上各品種ニ涉リ其ノ用途ヲ回顧シテ特殊用途ヲ檢討スルニ本設備ノ生産量ノ消化ニハ懸念ナキモノトス